



The Christian Science Monitor, June 1, 2010

メキシコ湾の原油流出と、神の指

The oil spill and God's finger

Nathan A. Talbot / ネイサン・A・タルボット

この数週間を振り返ってみて、恐らく頭に浮かぶニュースの見出しは、BP、環境災害、デープ・ウォーター・ホライゾン (海底掘削リグの名)、悲痛な思い、無力感などに関わるものではないでしょうか。

ハンス・ブリンカー (Hans Brinker) という名前については、どうでしょう。原油流出事故について考えるとき、この名前に思い当たる人はあまりいないかもしれませんが、名前は知らなくとも、この名前にまつわる伝説については、よくご存知かと思います。8歳のオランダの少年が、遠方に住む盲目の友人にケーキを届けたいとお母さんに頼みます。ケーキを持って出かけ、友人と1時間ほど過ごして、家路につくハンス。もう外は夕闇に包まれていますが、結構な距離をまた歩いて帰らなければなりません。

ハンスのお父さんは、用水路の木の水門を開閉する人で、一日の終わりには、町が洪水に見舞われないように、いつも水門を閉めていました。オランダではこの仕事がどれほど重要なものであるか、ハンスは、いつも身にしみて感じていました。そこで歩いていても、堤防から水がちよろちよろ漏れる音には非常に敏感で、ぴたっと足を止めるというのも自

Nathan A. Talbot / ネイサン・タルボット

他の日本語記事については、次をご覧ください: <http://www.spirituality.com/christiansciencesakigake/index.jhtml>

© 2010 The Christian Science Publishing Society (CSPS)

この記事は、50部までプリントアウトして、非営利として実費で提供することができます。この記事を手紙 (email) で送ったり、ウェブサイトに載せたりすることはできません。代わりに、CSPSのウェブサイトに掲載されているこの記事へのリンクを、メールしたり、ウェブサイトに載せたりしてください。この記事を手紙に転載する許可を得るには、copyright@csp.com宛に、メールをお送りください。件名は、英語で "Copyright Request" としてください。

然なことでしょう。一瞬、少年の心臓が高鳴り、次の瞬間、彼は堤防のようすを見にまっしぐらに走って行きます。小さな穴でしたが、もし、この漏れを止めなければ、夜の間に、取り返しのつかないことになることを、彼は知っていました。

彼は、指を小さな穴に差し込みます。夜が深まるなか、助けを求めることにも力尽きて、寒さで歯はかたかた、体はぶるぶる震えながらも、夜を徹して、ひたすら指で穴を塞ぎ通します。翌朝、彼は発見され、英雄となります。多くの人々にとって、彼の無私の努力は、真の勇気を示す犠牲と忠誠の象徴となっています。史実に基づくものではありませんが、この堤防の穴を塞いだ指の物語は、多くの人々に感動を与え続けてきました。それは、小さな指だけではなく、とてつもなく大きな勇気が、町全体を助けることができることを物語っています。

メキシコ湾の原油流出について祈っていたとき、私はこの場面について考えました。詩篇の作者は、**神**の指が、天の星をきれいに配列させることを詠っています。**キリスト**・イエスは、**神**の指によって悪霊を追い出すと告げています。私は、人のような**神**を信じる者ではありません。しかし、このような象徴は、神性の**原理**であり完全な**愛**である**神**が働く力を、見事に具体的に実感させてくれることを信じています。

もし、聖書の著者や人物が、**神**の霊的働きは、星の配置を指図し、病のような悪を人から追い出す能力を持つことを、伝えることができるのであれば、なぜ、そのような**神**の現存

Nathan A. Talbot / ネイサン・タルボット

は、その指をもって、象徴的場面を使い、比較的小さい原油漏れを処置することができないでしょうか。

私たちは、環境のため、また私たち自身の健康と幸福のために、こんなことをしてくださいと、**神**に頼むのでしょうか？ いいえ、もし聖書が正しく、**神**が神性の**愛**であるならば、**神**は、既にすべての必要を知り、すべての必要を満たし、そしてすべての必要が満たされていることを、喜んでおられるはずでしょう。私たちの役割は、主として、神性の**愛**が私たちのために常に行なっていることを、証人として見据えることです。もしかすると、信じられないような、また、説明できないような方法で、原油の噴出が止まるのを、目撃できるかもしれません。もしくは、知性（人間の当て推量ではなく、神性の**心**のからくる知性）が示され、正しい「指」が働いて、制御しようのない原油流出を、止めることになるかもしれません。ある人々は、これは天使の知らせであると言うでしょう。この *Monitor* (モニター紙) の創始者であるメリー・ペーカー・エディは、『**科学と健康—付聖書の鍵**』の中で、次のように書いています：「わたしの天使たちは、高められたもろもろの考えであって... その純白の指で、新しい栄光ある信頼を... 指し示す」(p.299)。必要なことは、人間的に指さして責任を迫及することではなく、天使の考えが、私たちが霊に満ちた方向に指し向けてくれることです。

大切なことは、あのオランダの少年が経験したとされるような力と献身の決意が、今、ここにあることを認識することです。そして、それは人間の必要を満たす方法を、必ず探し出してくれるでしょう。

Nathan A. Talbot / ネイサン・タルボット